

# ノーモア・ミナマタ 東京弁護士会ニュース

第2号 2014年9月26日発行

連絡先 ◆第二次ノーモアミナマタ国賠訴訟東京弁護士会（担当）弁護士 遠藤健一  
〒102-0071 東京都千代田区富士見 2-7-2 ステージビル 17階 1706 南北法律事務所  
TEL. 03-3511-5748 / FAX. 03-3511-5784

◆ノーモア・ミナマタ 東京支援連絡会（担当）土田  
〒160-0022 東京都新宿区新宿 2-1-3 サニーシティ新宿御苑 10F  
Tel.03-3352-3663 / FAX 03-3352-9476

## 東京訴訟提訴 第一陣原告団は18人

2014年8月12日、東京地方裁判所に、関東在住の水俣病被害者18名が提訴しました。

原告は熊本・鹿児島両県の出身で、東京、神奈川など5都県に住む40代から70代の男女です。

原告の多くが水俣病特別措置法による救済の対象外とされました。特措法の申請締め切りを知らず、申請できなかった人もいます。

様々困難はあるかもしれませんが、原告団・支援・弁護士会一体となって勝ち抜きたいと思っております。

また、来年の早いうちにも第二陣の提訴を予定しています。訴訟になっていることが大きく広がることによって、同じ境遇の被害者が次々に名乗りを上げるかもしれません。

大いに盛り上げていきましょう。



## 8/23, 24水俣現地調査 東京からは23人

2014年8月23日と24日の二日間にわたって、現地調査が行われました。

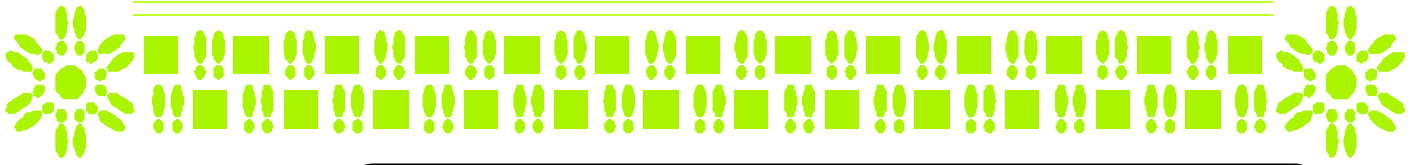
東京からの現地調査団は、福島から参加した2名を含む総勢23名でした。

今回の現地調査の大きな目的は、不知火海で採れた魚が行商人によって多く運ばれた山間部の実態の調査でした。1988年に廃線となった山野線に行商人が多く乗り込み、不知火海の魚が水俣からバスで40分以上離れた鹿児島県の山間部の布計、大口などにまで大量に届けられたのです。

布計駅周辺で魚の販売をしていた方の、昔被害を拡大させてしまった罪滅ぼしのために、現在裁判に協力しているという話を聞きました。しかし、本当に罪滅ぼしをすべきなのは、国、県そしてチッソです。半分が土砂に埋もれてしまった薩摩布計駅のプラットフォームを見学しながら当時の鉄道職員の方から、いかに多くの行商人でにぎわっていたかという話を聞き、時間の経過による風化をも乗り越えて、裁判に立ち向かわなくてはならないと、決意を新たにしました。

現地の集会では、東京弁護士会長の尾崎弁護士が東京で提訴したことの報告をし、東京も、全員救済に向けて、現地と協力して頑張っていくことが確認されました。





## 原告団の世話人になった吉竹さんの被害の訴えをご紹介します。

私の生まれは、鹿児島県大口市（現在伊佐市）大田で、姉二人の長男として生まれました。

水俣駅より薩摩大口市までの山野線があり、最寄りには郡山八幡駅で行商のおばさんが2名で交互に来てくれていました。小さい頃の中学に入るまではまったく人見知りしない子供で、行商のおばさんに良く付きまとい、おまけをもらっていたらしいです。

お祖母さんも内孫で男一人もあり、特に可愛がって、アジのハラワタに醤油をつけて食べるなどの珍味を二人だけで食べていたらしい。小さい頃より魚が大好きで多く食べていました。特に好物はみりん干しで毎日、食べてたいと思っていました。小学時代に隠れて一人で焼いて食べたこともありました。

体力はありましたが体調的には常に関節や内臓が故障していたように感じます。小学生の高学年は関節に注射をしに、牛尾金山の療養所に通っていました。しかしながら、自分が何かあるのではと感じる事は2年まえ迄有りませんでした。以前からのしびれやふらつきなどは自分が今まで体を酷使した結果なのだろうと自分に言い聞かせていました。また、水俣病についても大口には関係ないし、地域も対象でないので関係ないこととっていました。

今回の知ることになったのは、2年半前から鹿児島県人会を設立する話があり、自分も以前からの協力依頼されていまして、設立に携わりました。そのような中で鹿児島や大口、自分の生き立ちを確認したくなり色々しらべだしました。自分を何とか救って下さった遠矢先生が、自分が生まれる時に、障害を持った3姉妹がいた事。そして救済の方法が無く、自分たちで立ち上がり鹿児島、全国へ広めた基金が有る事を知りました。なぜ、大口と言う山あいの自然ばかりの町で、障害者の基金が生まれたのか、不思議に思いました。特に山間部の田舎は、障害が有ると隠す傾向が有り、当時もほとんど見た覚えはありませんでしたが、母に聞きましたら、しびれや震えで異常な死亡の人も親戚にいたようです。

いろんな意見があろうかと思いますが、水俣病の認知から公表までの時間が問題を大きくしてしまいました。自分も含め、魚を捕る人、加工する人、売りに来てくれた人、買って食べたひと全てが良いことをしようと思っていました。ここに、全く調べる手段も情報もない人達がです。知っていて隠そうとした人達がいなければ、大きな問題で50年以上も苦しむ事はなかったと思います。

田舎ではすぐに金欲しさでと言われるようですが、多くの人々の賛同と協力でそのような話で引っ込むようなことがないようにできればと希望します。胸をはって、障害が有る事を訴えていけたら、そして知らず知らずになってしまった病気を安心して治療できるようになればと希望します。知らない間に食べさせられたのですから・・・。

